

2022年1月31日
日本生命保険相互会社

中堅企業の福利厚生制度を支える従業員任意加入型の団体定期保険の発売について ～デジタルを活用した「新無配当扱特約付団体定期保険」～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、2023年1月より、中堅企業（従業員規模100～1000名程度）向けの団体定期保険の新商品として「新無配当扱特約付団体定期保険」（以下「当商品」）の引き受けを開始します（2022年夏頃よりご案内開始予定）。

従業員任意加入型の団体定期保険は、企業の福利厚生の更なる充実のため、企業が契約者となり、その企業の従業員等のうち希望される方に加入いただける商品です。当社の既存商品は、加入申込などの各種事務手続きを主に書面に対応しているため、事務負担や事務コスト等の観点から、従業員数が一定規模以上の企業に限定して提供してまいりました。

この度、団体定期保険の商品内容を簡素化するとともに、加入申込や事務手続き等のデジタル化を実現し、事務負担や事務コスト等を軽減することで、中堅企業などの皆様に加入いただける団体定期保険の新商品を提供します。

なお、団体定期保険において、中堅企業向けに特化し、デジタル手続きを前提とした商品の提供は生命保険業界初^{*}となります。 ※2022年1月時点、当社調べ



1. 開発の背景

従業員の自助努力を支援する制度である従業員任意加入型の団体定期保険は、福利厚生制度の中核として、従業員規模が一定規模以上の企業を中心に広く導入されています。

一方、中堅企業の皆様からも、団体定期保険を導入したいという声は多くいただいていたものの、事務負荷や事務コスト等の観点から、これまで提供することができなかつたため、中堅企業における当社の団体定期保険の導入率は低位にとどまっている状況です。

中堅企業(従業員数100~999名)における 当社団体定期保険導入状況

団体定期保険
導入率 6.6%※

※ 導入企業の大半は大企業の系列企業
(大企業の団体定期保険と同一制度の中で運用)

こうした状況や、企業のデジタル化に対するニーズの高まりも踏まえ、従来の団体定期保険の商品内容を簡素化し、デジタル完結の手続きを前提とした事務設計とするなどの抜本的な見直しを行い、中堅企業などの皆様に加入いただける任意加入型の団体定期保険として提供します。

2. 商品概要

(1) 保障内容

被保険者が保険期間中に次のお支払事由に該当された場合、保険金をお支払いします。

死亡保険金	支払事由：死亡したとき	支払額：任意の死亡保険金額
-------	-------------	---------------

(2) その他

配当	なし	加入可能な方	本人(役員・従業員)、配偶者、子ども
----	----	--------	--------------------

3. 商品の特徴

(1) お手頃な保険料

団体保険ならではの加入しやすい保険料です。

< 保険料例 >

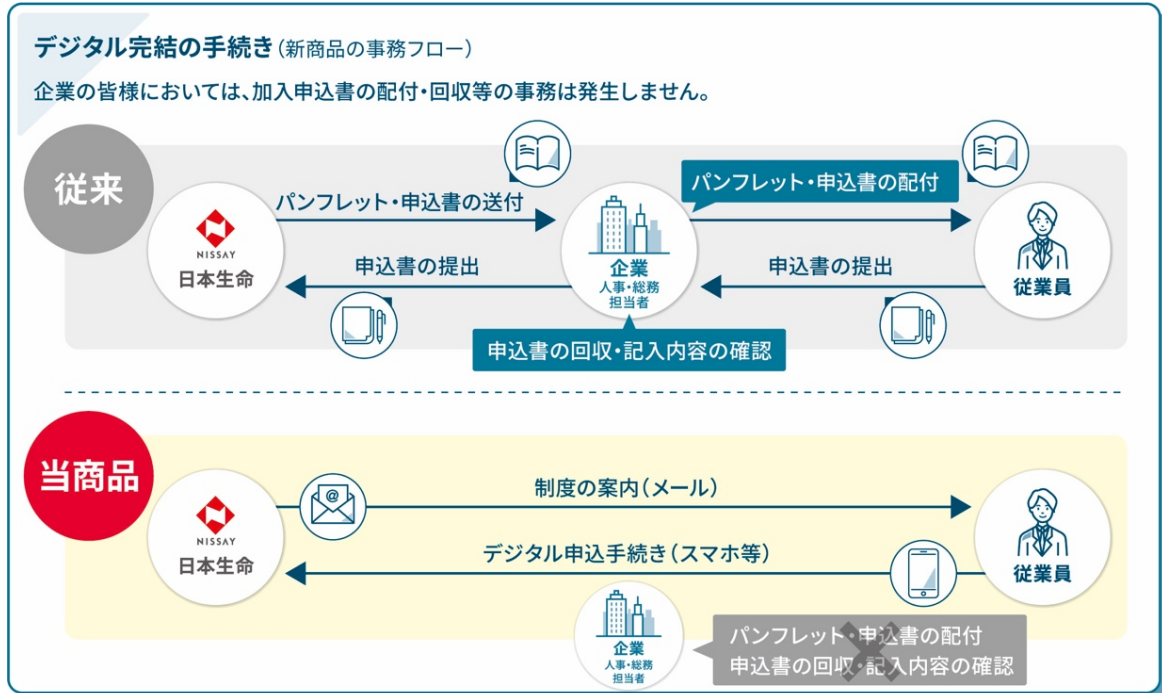
保険金額 300 万円、保険期間・保険料払込期間 1 年の例 (導入企業の総従業員数 100 名の場合)

1 人あたり月払保険料	男性 20 歳	231 円	女性 20 歳	96 円
	男性 30 歳	255 円	女性 30 歳	144 円
	男性 40 歳	462 円	女性 40 歳	342 円

(2) デジタルで完結する手続き

従業員はご自身のスマートフォン等から、場所を問わずいつでも加入手続きが可能です。また、企業の労務担当者が従来は書面で実施していた事務手続きや従業員への加入勧奨等を、インターネット上で対応いただくことができます。

テレワークが進みロケーションフリーとなった職場環境にもフィットした利便性の高い仕組みです。



(3) お得な付帯サービス

当商品の付帯サービスとして、健康・介護等の各種無料または割引サービス等の幅広いコンテンツを提供します。中堅企業の経営課題や従業員の福利厚生拡充・満足度向上を通じて、人材不足に課題を感じている中堅企業を福利厚生制度面から応援してまいります。また、ラインアップは適宜見直し、充実したコンテンツの提供に努めてまいります。



以上